

表紙物語

今月の表紙は、本誌中にもあるように、中弘南黒農協青年部交流会の「コマ」である。

交流会は当JA青年部が主催である為、部員で準備作業から行った。去年も行っている為、準備作業の流れはある程度把握して取り組んでいる様子であった。しかし、今年は積雪が少ない為、ソリのコースを少し調整する必要がある、試し滑走を何回も行い準備をしていた。また、スキー場での行動をより素早くするために、4名の部員がスキーを履いて作業していた。私自身部員のスキー姿は初めて見たので、とてもカッコいい姿を見ることが出来た。

去年、今年とロマンティブアスキー場で行い、当JA青年部主催の交流会は終わりましたが、当JA独自のカラーが出せた交流会になったのではないかと感じた。柴田部長は、「他のJAにはないような活動や、取組みを他のJA青年部にアピールできたかと思う。」と述べていた。



相撲の土俵は人間コンパスで



スキー場従業員も協力し準備



部員全員でコース設営の為ネットを張る



スキー場でしか見られない青年部員の一面も

JA相馬村広報

りんごの森

2020.3 Vol.452

■発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

■編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■発行日
2020年3月15日

JA 相馬村概況

〈令和2年2月末日現在〉

組合員数	867 人
(うち准組合員数)	366 人
出資金	628,330 千円
貯金額	9,278,007 千円
共済保有高	3,317,742 万円